

将棋大会ルール

1. 試合時間 1局20分とする。
2. 審判員 3人制で行い、勝敗の判定及び競技の運営にあたる。
3. 合図方法 マイクにより、試合開始、終了5分前、対局終了の合図をする。
4. 先後後手 先手、後手は振り駒で決める。
 - ・ じゃいけんをし、勝った者が「歩」を5枚振り、表が多く出れば、振った者が先手、裏が多く出れば、後手となる。
5. 反則行為 次の禁止手などは反則とする。
 - ① 二歩
 - ② うち歩詰め（突き歩詰めは反則としない。）
 - ③ 行き所がない駒
 - ④ 待った

（反則行為の取扱いは次の通りとする。）

 - ・ アピール
対局者は相手の打ち手が終了したとき、ただちに審判員に申し出て確認を受ける。
この場合、反則行為者の負けを認める。

※ 対局者は上記いずれかの方法を選択できるが、あくまで反則行為が発生し、次の手が打たれるまでのこととする。
なお、二歩については対局中であっても相手に発見され、アピールがあれば反則行為と認める。ただし、「と金」であればその限りではない。
対局者双方が反則の発生に気付かぬ時、または勝敗決定後のアピールは、対局の結果を優先させる。
6. 勝 敗
 - ① 試合時間（20分）内に勝敗が決定した場合は、勝った方が静かに手を上げ、審判員の指示に従う。
 - ※ **盤上の局面をくずさないで待つこと。**
 - ② 試合時間の経過した対局は審判員（3名）によって判定協議を行う。その結果、判定不可能な場合は振り駒で勝敗を決定する。振り駒は対局者双方が「歩」を5枚振り、表「歩」を多く出した方を勝ちとする。
 - ③ 対局中に先手、後手が分からなくなった場合、審判員は対局者に確認し、それでも先手、後手が分からない場合は対局を止め、審判員によって判定協議を行う。その結果、判定不可能な場合は振り駒で勝敗を決定する。
7. 作 法
 - ① 対局開始の時は「おねがいします」、対局終了の時は「ありがとうございました」とお互いに礼をする。
 - ② 持ち駒は、盤の右側に置き、他の人に迷惑にならぬよう静かに待つこと。
 - ③ 対局が早く終了した者は、他の人に迷惑にならぬよう静かに待つこと。
特に他の競技者への助言は禁止する。
8. そ の 他 指導者、見学者は所定の場所で待機し、競技場内へは入らぬこと。また、対局に関する発言は一切してはならない。
 - ※ 審判員も対局の助言等はしてはならない。